

すかい

地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2020
令和2年

1-25
No.569

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

景況調査レポート



中野土人形 ねずみ大黒

古い土蔵から出てきたのは、今年の干支を肩にのせた大黒様と達磨さん。いずれも中野市の土人形師、奈良久雄さんの作品です。頭巾をかぶり、打出の小槌を持った福の神、大黒様の使者は白いネズミ。昔から吉兆とされています。オリンピックイヤーの2020年が平穏で良い年でありますように。

アンケート特集

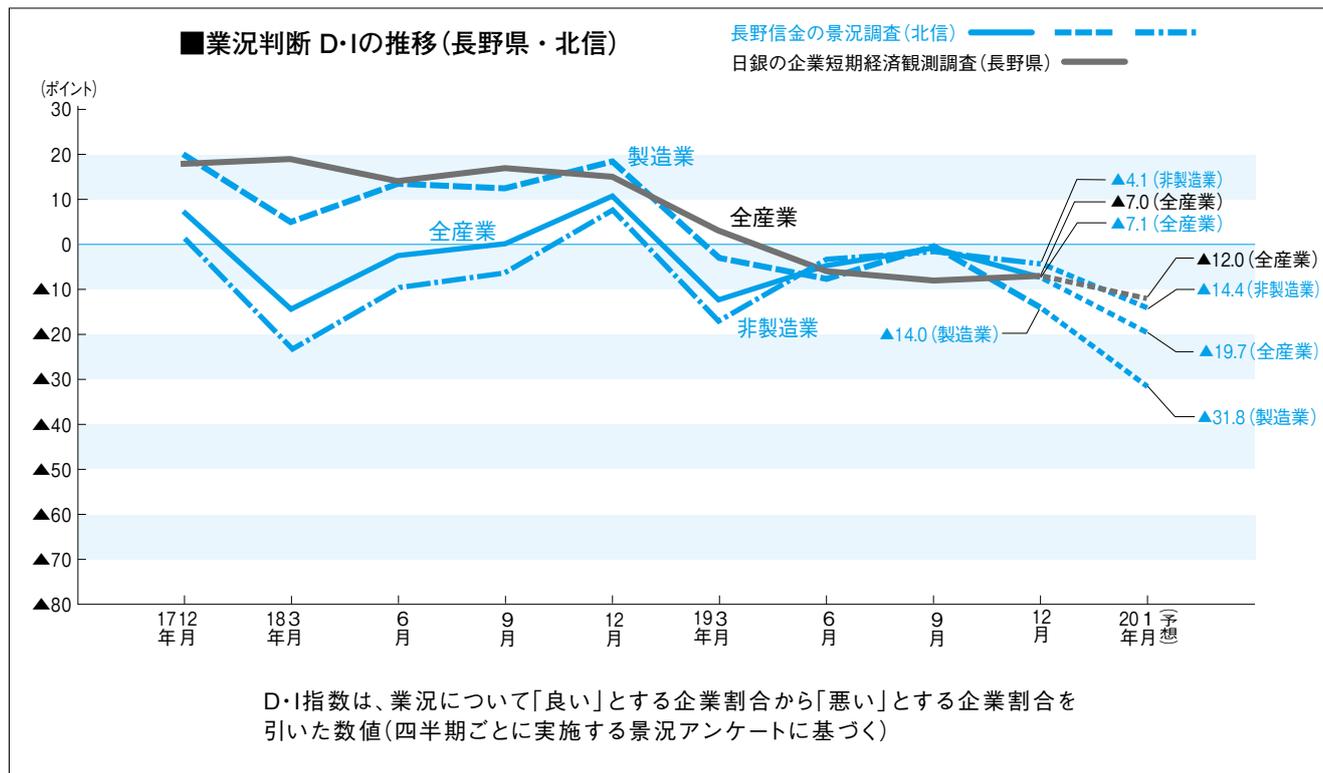
- 長野しんきん 景況調査レポート……………2
- 北信濃 江戸時代の風景 (65) 仮屋での生活…10

- 2020年の経営見通し①……………5
- 2020年の暮らし向き 生活者…8

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)

 長野信用金庫

◆長野県北信地区◆2019年10～12月期…景気の現状 ◇2020年1～3月期…景気の見通し



全産業▲1 → ▲7 製造業・非製造ともに悪化

2019年10～12月期の業況判断D-Iは、全産業で6割悪化して▲7となりました。製造業は14割悪化の▲14、非製造業は3割悪化の▲4です。

2020年1～3月期の全産業の業況判断D-I(予想)は、13割悪化の▲20となりました。

◆北信地区の10月～12月期の業況判断D-I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲1	▲7 (6割悪化)	▲20
製造業	±0	▲14 (14割悪化)	▲32
非製造業	▲1	▲4 (3割悪化)	▲14

非製造業▲1 → ▲4 建設・卸小売は改善

非製造業の業種別業況判断D-Iは、建設業が+22(前期比+10割)、卸小売業が▲7(同+17割)、

◆非製造業の業種別業況判断D-I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲1	▲4 (3割悪化)	▲14
建設業	+12	+22 (10割改善)	+2
卸小売業	▲23	▲7 (16割改善)	▲23
サービス業	+2	▲37 (39割悪化)	▲29

サービス業が▲37(同▲40割)となり、建設・卸小売は改善、サービスは悪化しています。

◆売上高D-Iと収益判断D-I

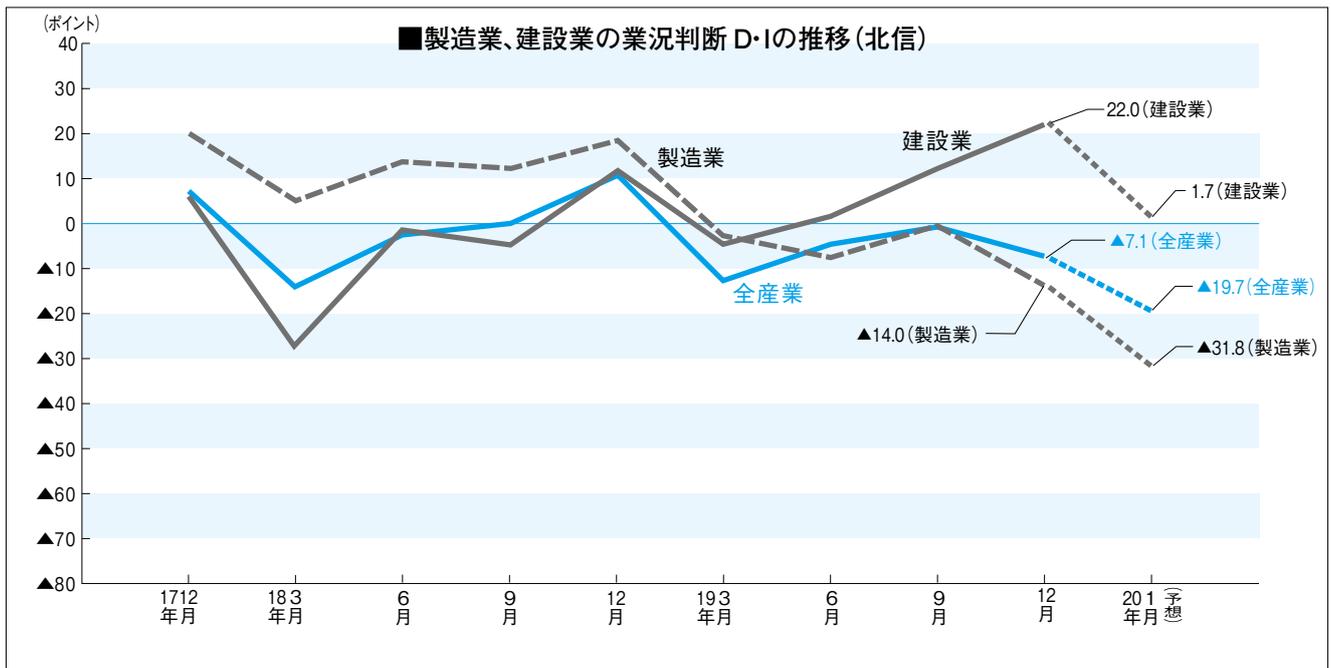
	売上高D-I(「増加」-「減少」)		収益判断D-I(「増益」-「減益」)	
	前期	今期	前期	今期
全産業	+2	▲6 (悪化)	+3	▲8 (悪化)
製造業	+6	▲26 (悪化)	+2	▲31 (悪化)
非製造業	+1	+3 (改善)	+4	+1 (悪化)

●北信地区の業況判断D-Iの推移

	2019年3月	6月	9月	12月	2020年1月(予想)
全産業	▲12.8	▲4.8	▲0.9	▲7.1	▲19.7
製造業	▲3.0	▲7.8	▲0.1	▲14.0	▲31.8
非製造業	▲17.2	▲3.3	▲1.4	▲4.1	▲14.4

[調査要領]

- 調査実施……2019年12月
 - 調査対象企業(回収)
 - 製造業……65社
 - 建設業……59社
 - 卸小売業……44社
 - サービス業……43社
 - 回収率……80.5%
 - 従業員規模
 - 30人未満……75.4%
 - 分析……D-I判断指数を中心に分析
- 合計……211社



製造業の景況

14期悪化して▲14に、来期も悪化の予想

製造業の10～12月期の業況判断D・Iは▲14で、前期(±0)に比べ14期悪化となりました。1～3月期は今期より18期悪化の▲32の予想です。

	(前期)	7～9月期	±0
◆業況判断D・I	(今期)	10～12月期	▲14
	(来期)	1～3月期	▲32(予想)

◇業種別業況判断D・I

改善	自動車部品
横ばい	金属加工
悪化	食料品・一般機械・電気機械・精密機械

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲31 (33期悪化)

「増益」割合	前期 19%	→ 15%	(4期減少)
「減益」割合	前期 17%	→ 45%	(28期増加)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」	前期 49%	→ 35%	(14期減少)
「収支トントン」	前期 42%	→ 51%	(9期増加)
「赤字」	前期 9%	→ 14%	(5期増加)

企業からのコメント

- ★台風浸水被害の影響で10・11月の売上は2割減。12月は需要期のため売上増を見込む。(味噌・漬物)
- ★後継者問題や原材料表示の新たな対応問題などで、業界の再編成が始まっている。(農産物加工)
- ★堅調だった車載部品・電源端子ともに減少し、定時操業が厳しい状況である。(電子部品)
- ★☆工作機械の装置組立は低迷。災害の影響などでパソコン関係も受注に対応できない。(電子部品組立)

建設業の景況

10期改善して+22に、来期は悪化の予想

建設業の10～12月期の業況判断D・Iは+22で、前回(+12)に比べ10期改善しています。1～3月期は今期より20期悪化の+2の予想です。

	(前期)	7～9月期	+12
◆業況判断D・I	(今期)	10～12月期	+22
	(来期)	1～3月期	+2(予想)

◇業種別	総合建設	前期 +40	→ +27 (13期悪化)
	土木工事	前期 ±0	→ ±0 (横ばい)
	建築	前期 +16	→ +21 (5期改善)
	各種設備	前期 +13	→ +44 (31期改善)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…+17 (3期改善)

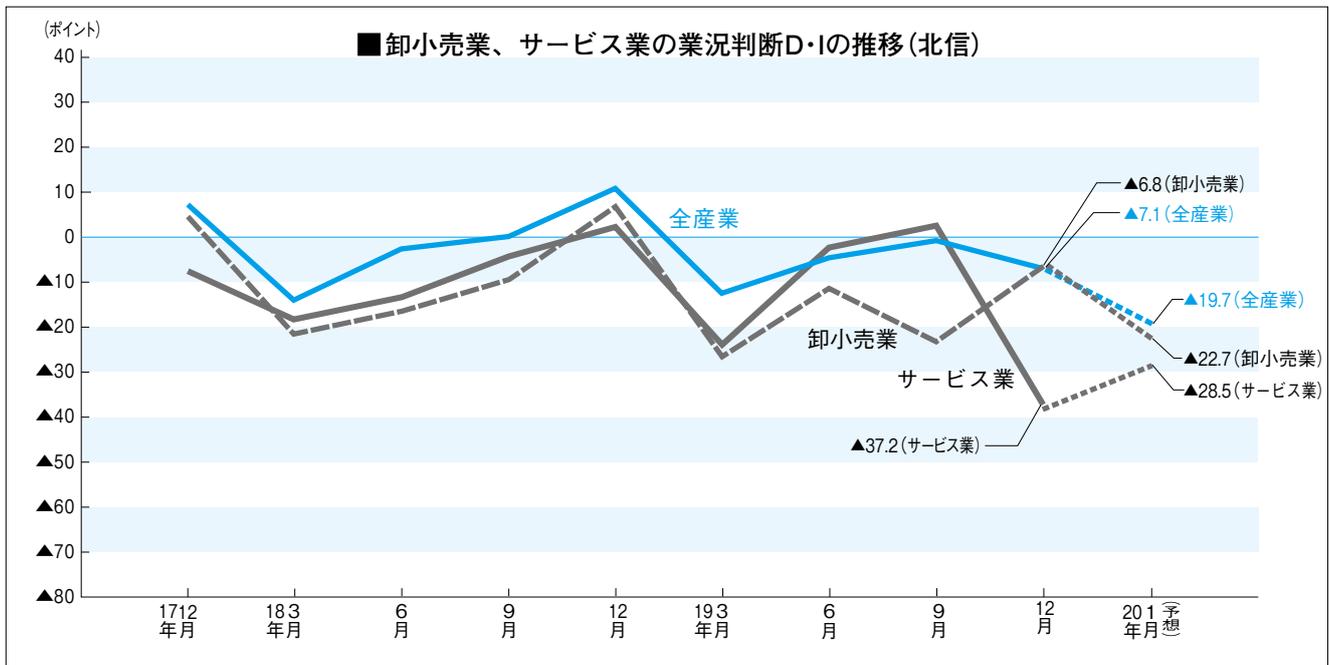
「増益」割合	前期 24%	→ 31%	(7期増加)
「減益」割合	前期 10%	→ 14%	(4期増加)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」	前期 51%	→ 42%	(9期減少)
「収支トントン」	前期 42%	→ 49%	(7期増加)
「赤字」	前期 7%	→ 9%	(2期増加)

企業からのコメント

- ☆★既存の受注工事以外に、床上浸水3件の水害復旧工事が加わり、繁忙な状況となっている。(一般在来建築)
- ★消費税引き上げに伴って見積額も上がり、受注しても利益が上がらない状況。(総合建設)
- ☆★台風19号災害の仮設住宅工事などで、今も人材不足状態は続いている。(電気設備工事)



卸小売業の景況

業況は16ポイント改善の▲7、来期は悪化の予想

卸小売業の10～12月期の業況判断D・Iは▲7で、前回(▲23)に比べ16ポイント改善しました。1～3月期の業況判断D・Iは16ポイント悪化の▲23の予想です。

◆業況判断D・I	(前期)	7～9月期	▲23
	(今期)	10～12月期	▲7
	(来期)	1～3月期	▲23(予想)

◇業種別	卸売業	前期 ▲45 → +17 (62ポイント改善)
	小売業	前期 ▲4 → ▲23 (19ポイント悪化)

◆収益判断D・I (「増益」-「減益」)...	+5 (21ポイント改善)
「増益」割合	前期 16% → 23% (7ポイント増加)
「減益」割合	前期 32% → 18% (14ポイント減少)

◆現在の採算状況…悪化	
「利益確保」	前期 48% → 33% (15ポイント減少)
「収支トントン」	前期 36% → 52% (16ポイント増加)
「赤字」	前期 16% → 14% (2ポイント減少)

- #### 企業からのコメント
- ★台風19号水害の影響で、被災地の生花小売店の仕入が減少している。(園芸市場)
 - ★消費税増税があったため、売上はやや減少傾向。(自動車・バイク・自転車販売)
 - ★水害で新車購入希望が多いが、対象車がリコールにより販売延期となり仕入が出来ない。(自動車販売)
 - ★団体観光客の減少で、業務の縮小や廃業を検討している同業者が増えている。(土産品・食堂)

サービス業の景況

業況は39ポイント悪化の▲37、来期は改善の予想

サービス業全体の10～12月期の業況判断D・Iは▲37で、前回(+2)と比べ39ポイント悪化しました。業種別では、全業種が悪化しています。

1～3月期の業況判断D・I(予想)は8ポイント改善の▲29です。

◆業況判断D・I	(前期)	7～9月期	▲2
	(今期)	10～12月期	▲37
	(来期)	1～3月期	▲29(予想)

◇業種別業況判断D・I	
サービス	前期 ±0 → ▲14 (14ポイント悪化)
輸送	前期 +43 → ▲56 (99ポイント悪化)
タクシー	前期 ±0 → ▲67 (67ポイント悪化)
運輸	前期 +50 → ▲50 (100ポイント悪化)
外食	前期 +29 → ▲43 (72ポイント悪化)
観光	前期 ▲63 → ▲75 (12ポイント悪化)
不動産	前期 +9 → ▲8 (17ポイント悪化)

- #### 企業からのコメント
- ★40・50代の退職者が目につく。行く先は好条件を提示しているトラック業界である。(タクシー)
 - ☆★来年に向けて道路網整備、高速道路料金における大口割引堅持などの要望が上がっている。(運送)
 - ☆★県から当協会に「台風災害の復旧対応」の要請があり、受注業務を一時停止して取組んでいる。(測量・土木設計)
 - ★廃業や経営者交代などの動きがある。苦境の旅館に「台風災害」が止めになりかねない。(日本旅館)

2019年の業況 ▲9 [良い]25% [悪い]34%

2020年の業況見通し ▲7 [良くなる]20% [悪くなる]27%

アンケート
2020年の経営見通し ①
2019年12月調査

2019年の業況 [良い]25%、[悪い]34%の▲9となり、2018年に比べ14ポイントの悪化となりました。

2020年の業況見通し [良くなる]20%、[悪くなる]27%の▲7となり、2019年に比べ1ポイント改善の予想となりました。

業況判断D・Iは▲9となり、2018年に比べ14ポイント悪化しました。

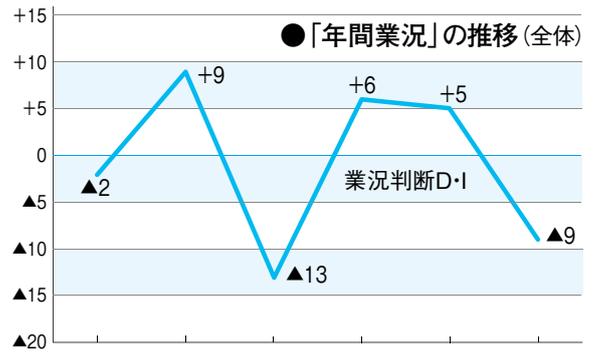
従業員規模で見ると、30人未満の+2に対して、30人以上は▲40となり、30人未満が大きく42ポイント上

2019年の業況

30人未満 +2 [良い]29% [悪い]27%
30人以上 ▲40 [良い]13% [悪い]54%

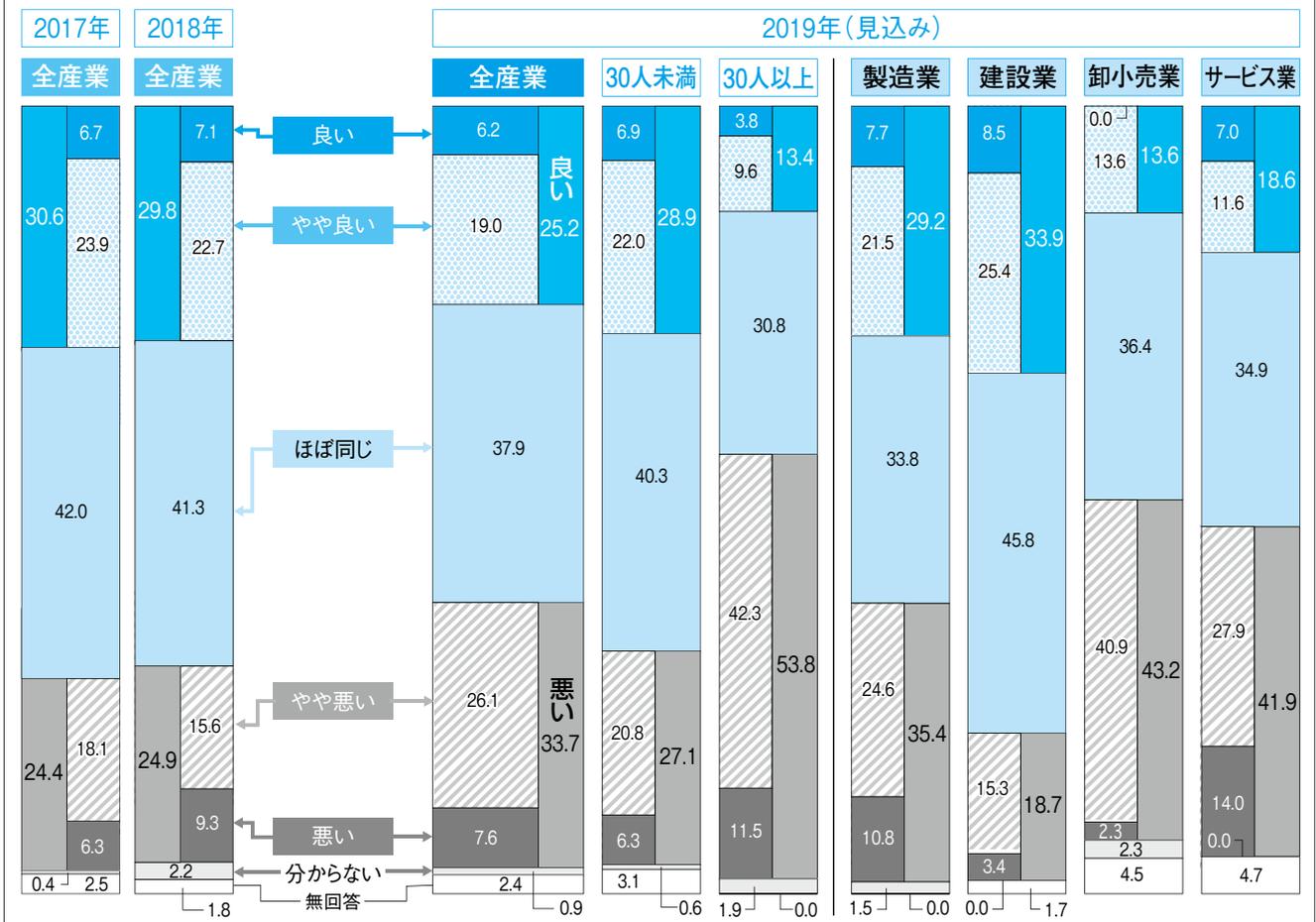
「2019年の業況（見込み）は、2018年に比べてどうか」を聞きました。

全産業では、「良い」と「やや良い」を合わせた[良い]と答えた企業(25%)から、「悪い」と「やや悪い」を合わせた[悪い]と答えた企業(34%)を引いた業



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
良かった	28%	35%	23%	31%	30%	25%
悪かった	30%	26%	36%	24%	25%	34%

●2019年の業況（見込み）は、2018年に比べてどうか(%) ~全産業は2018年(+6)より15ポイント悪化して▲9に~



回りました。

業種別

30人以上が高い卸小売

◇4業種 (2018年比)

製造業 業況判断D・Iは、2018年実績(+22)に比べ28%悪化の▲6となりました。30人未満は+16、30人以上は▲50です。

建設業 業況判断D・Iは、2018年実績(±0)に比べ15%改善の+15となり、他業種に比べ最も高くなりました。30人未満は+15、30人以上は+14です。

卸小売業 業況判断D・Iは、2018年実績(▲9)に比べ21%悪化の▲30となり、他業種に比べ最も低くなりました。30人未満は▲32、30人以上は▲14です。

サービス業 業況判断D・Iは、2018年実績(+2)に比べ25%悪化となりました。30人未満は±0、30人以上は▲63です。

2020年の業況見通し

30人未満 ▲4 [良い]19% [悪い]23%
30人以上 ▲17 [良い]21% [悪い]39%

「2020年の業況見通しは、2019年に比べてどうか」を聞きました。

全産業では、「良くなる」と「やや良くなる」を合わせた[良くなる]と答えた企業(20%)から、「悪くなる」と「やや悪くなる」を合わせた[悪くなる]と答えた企業(27%)を引いた業況判断D・Iは▲7となり、2019年実績(▲15)に比べ8%改善の予測となりました。

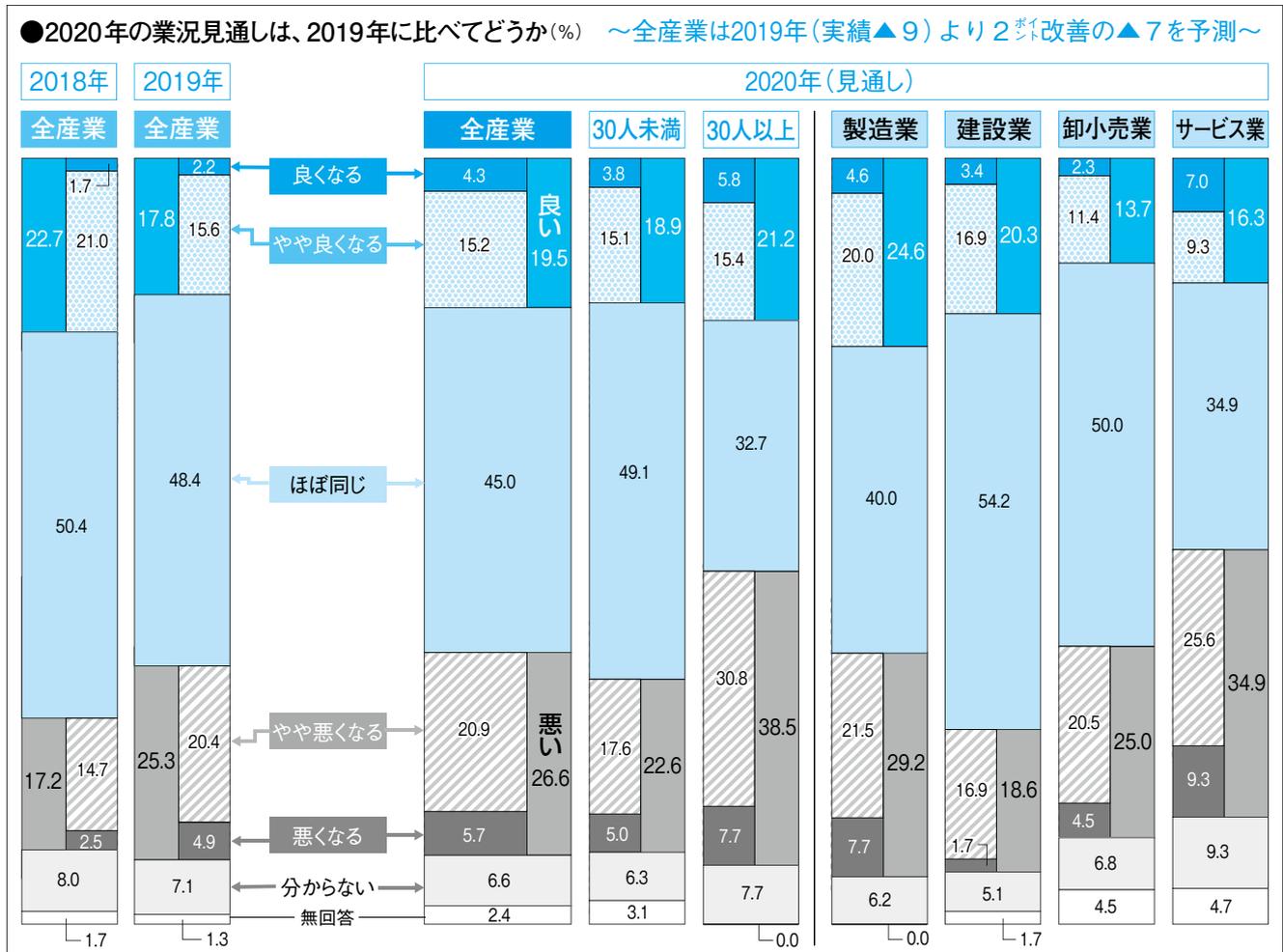
従業員規模で見ると、30人未満の▲4に対して、30人以上は▲17となり、30人未満が13%上回りました。

業種別

サービスは改善傾向だが、4業種で最も低い結果に

◇4業種 (2019年比)

製造業 業況判断D・Iは、2019年実績(▲6)に



比べ1割改善の▲5となりました。30人未満は+5、30人以上は▲23です。

建設業 業況判断D・Iは、2019年実績(+15)に比べ13割悪化の+2となり、他業種に比べ最も高くなりました。30人未満は▲2、30人以上は+29です。

卸小売業 業況判断D・Iは、2019年実績(▲30)に比べ19割改善の▲11となりました。30人未満は▲8、30人以上は▲29です。

サービス業 業況判断D・Iは、2019年実績(▲23)

に比べ4割改善(▲19)しましたが、他業種に比べ最も低くなりました。30人未満は▲15、30人以上は▲25です。

[調査要領]

実施期日：2019年12月上旬～中旬

実施方法：第178回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収211社(製造業65社、建設業59社、

卸小売業44社、サービス業43社)

うち従業員30人未満159社(75.4%)

「2020年の展望と業界見通し」に関する企業からのコメント

製造業

◇業界は縮小していく。商品の集約を行い、効率の良い生産体制を確立していきたい。(食料品)

◇弊社にしか出来ないモノづくりをして、差別化を図っていききたい。(そば製造)

◇メディアでの取り上げがあり、2019年は良い方向で推移したが、2020年の前半は厳しくなりそうである。積極的な新製品開発、新しいハートを開拓し補っていききたい。(乾麺製造)

◇生味噌は減少傾向にあるため、味噌加工品(PB・OEMなど)の生産に移行していく。(味噌・漬物)

◇少子高齢化がさらに進み、全体的な需要低下による売上減、労働者不足が深刻な状況となり、より慎重な経営判断が求められる。(シール・ラベル製造)

◇業界全体として需要の増加は見込めないが、営業力強化による増加策を模索していきたい。(段ボール用印版)

◇東京オリンピック開催以後の落ち込みが心配である。(建築材金属加工)

◇全国的な遊技場店舗の減少から市場規模が縮小。新製品開発に活路を託す。(樹脂ケース)

◇米中貿易摩擦の影響で半導体の状況は悪い。今後5Gで伸びが予想されているが、4月以降の上昇を期待している。(半導体材料)

建設業

◇当面、災害復旧工事の受注があると思うが、ほとんどの業種で、職人不足の中でのやりくりは厳しいのではないかと。

◇業界の今後は、更に厳しくなっていくと思う。不景気からの脱却策を模索し、検討していくことが重要になると考えている。

◇企業からの受注頼みでここ何年も来てしまい、本来の個人住宅への営業が全く手薄になっている。ここで原点に回帰することを考えている。

◇災害復旧に関して、しばらくは公共事業も増加していくであろう。ただ人手・人材不足は相当深刻

な問題である。(以上総合建設)

◇メインは公共事業なので展望・見通しはできないが、完全な受け身の体質からは、そろそろ脱却しないといけない段階に来ていると思う。

◇当社としてはまずまずの収益が見込まれる。しかし業界としては技術者の高齢化で人材の確保と育成が追いつかない。仕事があっても受注が難しくなっていくと思う。(以上土木工事)

卸小売業

◇キャッシュレスによる支払手数料の増加、消費税引上げによる事務の煩雑化などが課題。(土産物店)

◇東京オリンピックの準備が終了すれば、その先は崖が待っている。働き方改革による営業時間の短縮、人員増加で収益が減少している。もっと一貫した政策が欲しい。(酒類販売)

◇何かしっくりしたビジョンを確立していかないと、和洋菓子の店舗販売は困難であろう。(和菓子)

◇東京五輪までは、世の中盛り上がりムードのような気はするが、後の反動を懸念する。

◇大手ディーラーの再編成でますます競争が激化している。また、若者の車離れが進んでおり心配な状況。(以上自動車販売)

◇チーム一丸で取組む笑顔の職場づくりと、時代に遅れない経営を心がけている。(建設金物小売)

◇営業時間の短縮と市場休の増加の中、効率よく仕事をさせるための「働き方改革」が課題。これからは物流も手がけたい。(青果卸売)

サービス業

◇人材不足のため売上は減少なのに、給料は減少にはならず。「働き方改革」は厳しい状況。(運送)

◇運賃の値上げは延期されたままで新年を迎える。動向を注視するのみ。(タクシー)

◇台風災害によるキャンセルは10月の1カ月だけで1千万円。それ以降の予約状況もよくない。旅館は「平和産業」なので災害に弱い。(旅館)

◇新規事業として、住宅用トレーラー事業を考えていきたい。(不動産)

2019年の暮らし向き

▲9 [良くなった]8% [悪くなった]17%

2020年の暮らし向き

生活者アンケート

2019年12月調査

2020年の暮らし向き(予測)

▲12 [良くなる]10% [悪くなる]22%

2019年の暮らし向き [良くなった] 8%、[悪くなった] 17%で、暮らし向き判断D・Iは▲9となり、前年より悪化しています。

2020年の暮らし向き [良くなる] 10%、[悪くなる] 22%で、暮らし向き判断D・Iは▲12となり、悪化を予測しています。

◇2019年 ▲9([良くなった] 8%・[悪くなった] 17%)

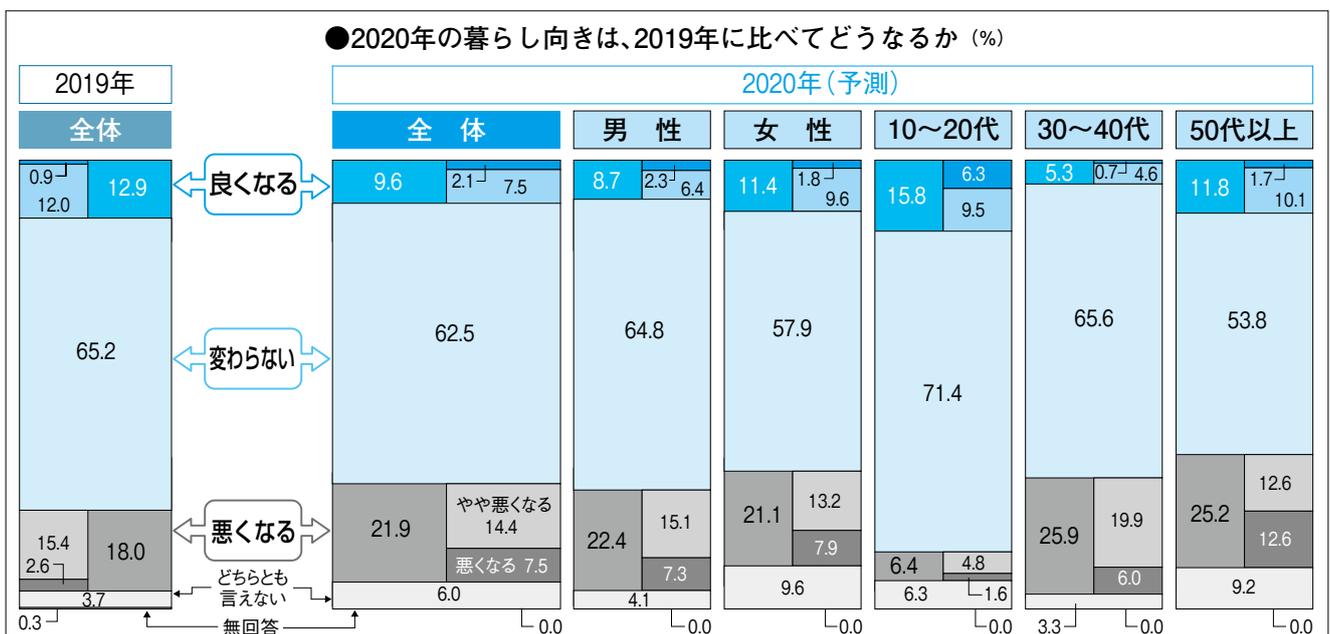
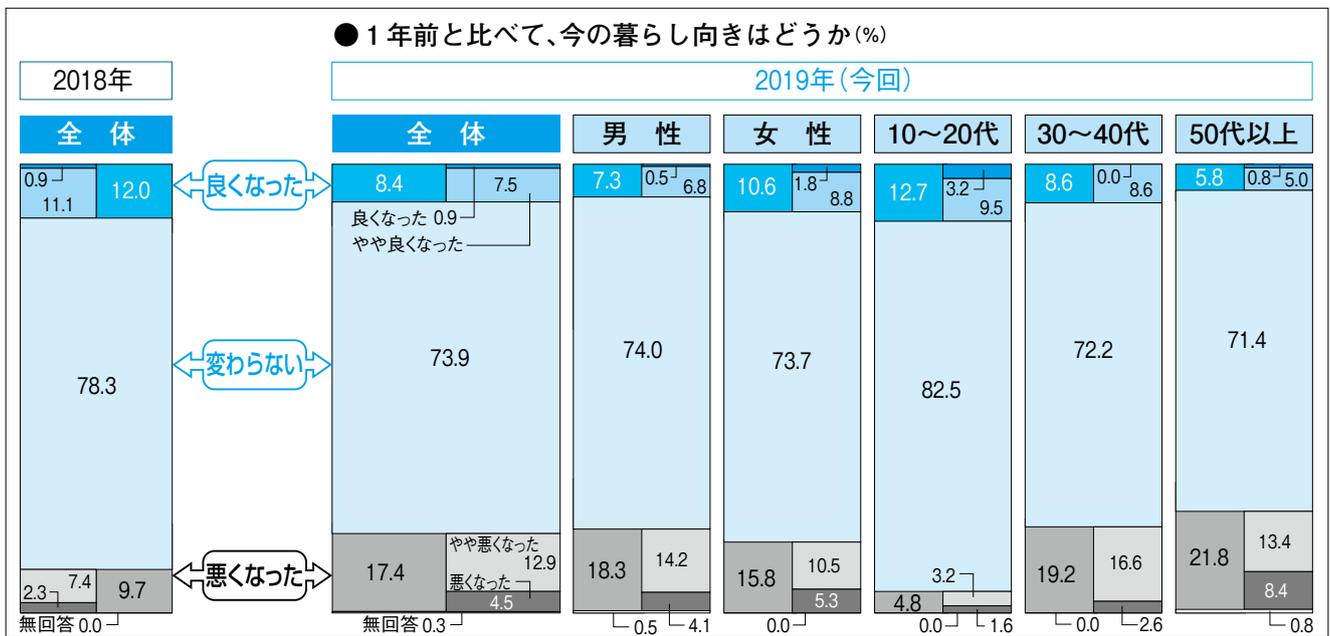
◇2020年(予測) ▲12([良くなる] 10%・[悪くなる] 22%)

2019年の暮らし向き

2018年に比べ11%悪化

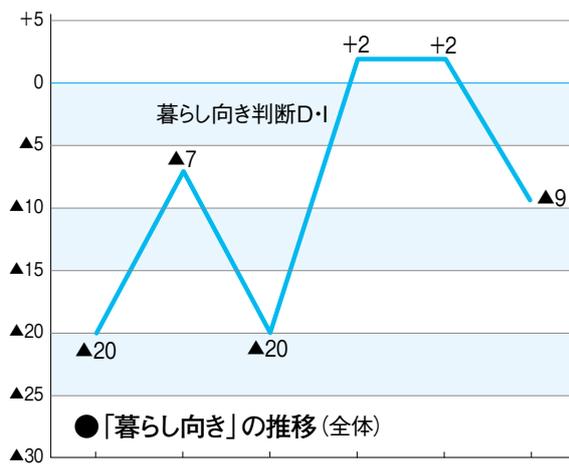
「2019年の暮らし向きは、2018年と比べてどうか」を聞きました。

「良くなった」と「やや良くなった」を合わせた[良くなった]は8%(2018年調査:12%)「悪くなった」と「やや悪くなった」を合わせた[悪くなった]は17%



% (同調査：10%)で、暮らし向き判断D・Iは▲9となり、2018年(+2)に比べ11ポイント悪化しました。

男女別では、[良くなった]は男性7%、女性11%、[悪くなった]は男性18%、女性16%となり、暮らし向き判断D・Iは男性▲11、女性▲5となり、女性が6ポイント高くなりました。世代別では、10～20代が+8、30～40代が▲11、50代以上が▲16となり、その差は24ポイントと広がっています。



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
良くなった	9%	9%	8%	14%	12%	8%
悪くなった	29%	17%	20%	12%	10%	17%

2020年の暮らし向き(予測)

2019年(実績)に比べ3ポイント悪化

「2020年の暮らし向きはどうか」を聞きました。

「良くなる」と「やや良くなる」を合わせた[良くなる]は10% (2019年実績8%)、「悪くなる」と「やや悪くなる」を合わせた[悪くなる]は22% (2019年調査：17%)で、暮らし向き判断D・Iは▲12となり、2019年実績(▲9)に比べ3ポイント悪化(予測)となりました。

男女別では、[良くなる]は男性9%、女性11%、[悪くなる]は男性22%、女性21%となり、暮らし向き判断D・Iは男性▲14、女性▲10となり、女性が4ポイント高くなりました。世代別では、10～20代が+9、30～40代が▲21、50代以上が▲13となり、その差は22ポイントとなっています。

[調査要領]

実施期日：2019年12月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本支店窓口

対象者：来店客333人(男性219人・女性114人)

調査方法：アンケート用紙に記述(無記名)

「暮らし向き」に関する生活者からのコメント

- ◇年金受給年齢はどんどん引き上げられるが、私たち世代の老後に十分な収入があるか心配。(20代女性)
- ◇東京オリンピック後に不景気にならないか心配。
- ◇“年金2千万円問題”に代表される「老後の年金生活」が不安で仕方がない。我々が受給するころ、年金制度は存在するのだろうか。(以上20代男性)
- ◇子どもの将来と自分の老後が、もっと豊かで暮らしやすい世の中であってほしい。(30代女性)
- ◇経済も大事だが、自然災害の多発する現在、自然に畏敬の念を払い、環境問題を優先すべきではないか。
- ◇政治主導という名の下での独裁を改めなくては、“武士道精神”を大事にする日本人の美徳が失われる気がしてならない。(以上30代男性)
- ◇道徳教育の是非が論じられているが、政治の世界に正義が本当にあるのか疑問。
- ◇子育て支援の方向が間違っていると思う。現場の声を聞かず、目先のことで決定されている気がする。(以上40代女性)
- ◇若者が希望を持てる国であってほしい。「大学共通テスト」を巡る混乱など、政策が場当たり的な人気取りでは可哀相すぎる。
- ◇「働けど働けど猶わが生活楽にならざりちっと手を見る」(石川啄木)現状の暮らし向きは悪化しつつあ

- るが、前向きに生活するようにしている。
- ◇地球温暖化の影響で、昨今の異常気象が起きているとしか考えられない。水害からの復興も、長期ビジョンが必要ではないか。(以上40代男性)
- ◇両親が遠方にいるので、高齢化に伴う足(車)の問題を真剣に考えなければいけない時期となった。
- ◇今の世の中、普通の地道な生活者が損をしている気がしてならない。その原因は、奇をてらったパラマキ政策ではないか。(以上50代女性)
- ◇「働き方改革」はいいが、経営者の「メンタルヘルスケア」はどうなっているのか疑問。
- ◇事業の今後が一番の悩み事。経営者の宿命とはいえども、答えに窮する。
- ◇自然災害の少ない一年であって欲しい。戦争のない平和な国を次世代に引き継ぐのが我々世代の使命だと思う。(以上50代男性)
- ◇権堂の大型スーパーがなくなると、食料品の買い物などで非常に困ることになる。
- ◇高齢者対策より少子化対策に本腰を入れいくべきだと思う。(以上60代以上女性)
- ◇高齢になったので、家族の世話にならないよう、ほどほどに仕事をし、好きなことに力を注ぎ、お金は残さず、死ぬまでに使い切りたい。(60代以上男性)

北信濃 江戸時代の風景

(65) 仮屋での生活

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



本年度は、弘化4年(1847)に起こった善光寺地震を記録した『地震後世俗語之種』(国立国会図書館本)の挿絵を用いています。

善光寺地震が起こったのは、3月24日(太陽暦では5月8日)の午後10時ころでした。『地震後世俗語之種』を書いた権堂村の名主、永井善左衛門幸一は、地震が発生した時、家族とともに善光寺にいましたが、城山に避難して一夜を明かしました。一家が権堂に帰ったのは、翌25日の午前中でした。

仮屋を作る

権堂に帰ってみると、人々は潰れかけた家から家財や建具などを運び出して野宿をしようと、老若男女が入り乱れ、上を下への大騒ぎです。地震により門前町の北部で発生した火災は次第に南に燃え広がり、権堂に火が移るのは時間の問題だったのです。

善左衛門たちも、延焼する前に一品でも多く持ち出そうとするのですが、塀や建物が倒れて道をふさいでおり、家に近づくのも困難です。その間にも余震や鳴動が続き、人々を不安に陥れます。一品二品と取り出し、ようやく1丁余(百数十メートル)離れた田畑の中に、戸板・襖・屏風などを組み合わせた小屋を作りました。

権堂や後町に火が移ったのは、正午過ぎでした。善左衛門の家は焼け残っていましたが、午後8時ころに急に風向きが変わり、火が燃え移ってしまいました。風が変わるとともに、激しい風雨が野宿している人々を襲い、苦しめました。左下の図は、そうした中での善左衛門の仮屋の様子を描いています。

原本との違い

この図は写本なので、永井善左衛門が描いた原



善光寺地震直後の永井善左衛門の仮屋 (国立国会図書館蔵『地震後世俗語之種』より)

本の図とかなり異なっています。原本の図は仮屋の内部を描いた見開きと、仮屋の外部(善左衛門とムメ)を描いた見開きから成る4ページ分の絵です。この写本は善左衛門とムメを小屋の左手前に配置して、見開き(2ページ)の図にまとめています。

また原本では仮屋の手前に左上から右下への雨の線が無数に描かれ、風雨の激しさが見て取れるのですが、この写本では雨の線が上部に垂直に描かれているのみです。左下で風にあおられているムメと、垂直に降る雨が矛盾しています。

また右上の提灯は、原本では雨を防ぐため提灯の上部に取り付けた笠が、欄外にはみ出して描かれています。

仮屋の内部

善左衛門の仮屋の構造を見てみましょう。屋根は戸板・襖などを無造作に組み合わせたものです。雨漏りを防ぐために、蛇の目傘が2つ置いてあります。柱や梁の役目をする棒があって、それらと屋根が縄で結び止められています。左側の柱は刺股のようなもので、屋根の襖を突き抜けています。背面や側面ははっきり描かれていませんが、屋根と同様に戸板や襖を立てて壁にしているのでしょう。下には畳が敷かれています。

右下には箆筒・釜・自在鉤など、自宅から持ち出した様々なものが積み上げられています。これらは仮屋に入らないので、屋外に積み上げて雨ざらしになっているのです。

大事なものだけは、仮屋の奥に置かれています。左側の奥に見えるのは、お上から預かっている高札です。権堂村の名主永井善左衛門の家は表権堂(南北の通り)の東側にありましたが、高札場は向かい側(現在の権堂郵便局付近)にあって、名主としてその管理をしていました。



表権堂通り。永井善左衛門の家は右側(東側)にあった。

また右奥には、位牌や仏像の台座のようなものが見えます。

仮屋の人々

善左衛門(34歳)は左側の屋外にいて、手を合わせて神仏に祈っています。風雨を避けるために、羽織のようなものを頭からかぶっています。娘の順(16歳)は仮屋の奥で両手を頬に当て、不安そうな表情を浮かべています。女房の糸(29歳)は、天井からつるされた紐のようなものにつかまっています。続く余震におびえているのでしょうか。俵の乾三(9歳)は布団のようなものに寄りかかってうたた寝をしています。

こうした中で出入りの大工荘五郎だけは、職人らしく棒のようなものを口にくわえ、縄を手に仮屋を補修する作業を続けています。荘五郎の母ムメは、屋外で飯を炊いています。手で顔を覆って、風雨と炎を防いでいます。下女のミノは屋内でうつ伏したままです。脱ぎ散らかした下駄と草履が、人々の心を象徴しているようです。

2月号は「天然ダムの決壊」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)

17th NAGANO SHINKIN BANK Presents



SHINKIN BUSINESS FAIR 2020



ひらめきで
信州の未来をつなぐ。
人をつたえる。

第17回長野しんきんビジネスフェア
2020年5月13日[水]10:00-17:30
会場:ビッグハット / 入場無料

主催  長野信用金庫

共催:長野県信用金庫協会、長野県中小企業家同友会

共催:長野しんきんビジネスクラブ、長野県信用金庫経営者協会

●みなさまの税務相談のご案内 [2月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
2月 4日 火	長池支店 (大豆島支店)		2月 19日 水	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)
7日 金	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	20日 木	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)
10日 月	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	21日 金	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
12日 水	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	26日 水	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
13日 木	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)	27日 木	本 部	
17日 月	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	28日 金	本 部	

●2月の「しんきん事業相談会」は2月5日(水)です

 長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)



長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>